

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月9日

上場会社名 元旦ビューティ工業株式会社  
 コード番号 5935 URL <http://www.gantan.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長統括執行役員 (氏名) 松木 亮亮  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼総務部長 (氏名) 武末 誠一

TEL 0466-45-8771

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,745	△7.6	△283	—	△277	—	△200	—
28年3月期第1四半期	1,889	0.7	△233	—	△229	—	△160	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△26.13	—
28年3月期第1四半期	△20.97	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	7,935	2,804	35.3	365.53
28年3月期	8,284	2,993	36.1	390.18

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 2,804百万円 28年3月期 2,993百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,300	2.3	30	4.0	15	△40.1	5	△58.3	0.65
通期	13,000	4.7	540	△9.4	500	△13.1	250	△27.6	32.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	7,716,063 株	28年3月期	7,716,063 株
29年3月期1Q	43,906 株	28年3月期	43,906 株
29年3月期1Q	7,672,157 株	28年3月期1Q	7,672,656 株

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における日本経済は、雇用・所得環境は改善傾向にあるものの、新興国経済の減速や英国のEU離脱をめぐる懸念などから円高、株安となり、金融資本市場が不安定になるなど、景気の先行きは不透明な状況であります。

また、建設業界においては、建築需要は底堅く堅調に推移しておりますが、労務費や建設資材価格の高止まりにより、工事採算は厳しい状況にあります。

このような状況のなか、当社は地球環境保全に貢献できる太陽光発電屋根や、従来の金属屋根では対応できなかったビル・マンションへの防水屋根のほか、高機能・高品質屋根の普及に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,745百万円(前年同期比7.6%減)となり、その内訳は製品売上高が1,152百万円(前年同期比3.2%減)、請負工事高が593百万円(前年同期比15.0%減)となりました。

損益面におきましては、営業損失は283百万円(前年同期は233百万円の損失)、経常損失は277百万円(前年同期は229百万円の損失)となりました。また、法人税等調整額を△85百万円計上したことから、四半期純損失は200百万円(前年同期は160百万円の損失)となりました。

なお、当社の売上高は建設業界固有のマーケット特性により、事業年度の後半に著しく増加する傾向にあり、当第1四半期の営業利益・経常利益及び四半期純利益はマイナスになっております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ348百万円減少し、7,935百万円となりました。その主な要因としては、売上債権の回収増加に伴い受取手形及び売掛金が512百万円、完成工事未収入金が537百万円それぞれ減少したこと、一方で現金及び預金が241百万円増加、生産・仕入の増加に伴い、たな卸資産が312百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は前事業年度末に比べ159百万円減少し、5,130百万円となりました。その主な要因としては、仕入債務の決済増に伴い支払手形及び買掛金が684百万円、工事未払金が127百万円それぞれ減少したこと、一方で短期借入金374百万円、長期借入金が242百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

純資産合計は、四半期純損失の計上及び配当金の支払いにより、前事業年度末に比べ189百万円減少し2,804百万円となり、自己資本比率は35.3%になりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は概ね予定通りに進捗しており、平成29年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成28年5月13日付「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	442,229	683,576
受取手形及び売掛金	1,662,584	1,149,734
完成工事未収入金	962,103	424,579
製品	523,590	585,885
仕掛品	7,043	6,219
未成工事支出金	370,051	555,255
原材料	629,616	695,435
その他	240,675	337,047
貸倒引当金	△8,289	△5,104
流動資産合計	4,829,605	4,432,631
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	645,093	636,797
機械及び装置(純額)	199,240	203,682
土地	1,892,712	1,892,712
その他(純額)	70,418	71,086
有形固定資産合計	2,807,465	2,804,278
無形固定資産	51,304	49,674
投資その他の資産		
その他	767,611	819,701
貸倒引当金	△171,885	△171,077
投資その他の資産合計	595,726	648,624
固定資産合計	3,454,496	3,502,577
資産合計	8,284,102	7,935,209
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,502,536	1,818,400
工事未払金	305,484	177,686
短期借入金	731,680	1,105,990
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	155,827	11,289
製品保証引当金	27,311	26,995
その他	470,733	629,026
流動負債合計	4,233,573	3,809,388
固定負債		
長期借入金	538,830	781,600
退職給付引当金	428,234	434,588
その他	89,916	105,153
固定負債合計	1,056,980	1,321,341
負債合計	5,290,554	5,130,729

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,921	1,266,921
利益剰余金	1,544,095	1,320,599
自己株式	△16,779	△16,779
株主資本合計	2,794,237	2,570,740
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	199,310	233,739
評価・換算差額等合計	199,310	233,739
純資産合計	2,993,547	2,804,479
負債純資産合計	8,284,102	7,935,209

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,889,259	1,745,627
売上原価	1,405,495	1,298,973
売上総利益	483,763	446,654
販売費及び一般管理費	717,277	729,804
営業損失(△)	△233,513	△283,149
営業外収益		
受取配当金	4,531	7,535
受取賃貸料	4,593	5,173
その他	10,373	7,867
営業外収益合計	19,498	20,576
営業外費用		
支払利息	3,367	3,856
手形売却損	4,170	3,764
減価償却費	3,213	2,986
その他	4,757	4,480
営業外費用合計	15,508	15,088
経常損失(△)	△229,523	△277,661
特別損失		
貸倒引当金繰入額	195	—
特別損失合計	195	—
税引前四半期純損失(△)	△229,718	△277,661
法人税、住民税及び事業税	6,527	8,441
法人税等調整額	△75,340	△85,622
法人税等合計	△68,812	△77,181
四半期純損失(△)	△160,905	△200,480

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

当社は、金属屋根事業、ならびにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。